

あすならホーム畝傍 多機能型ケアホーム 運営推進会議議事録

開催日時	2026 年 9 月 26 日（土）11：00～11：30																									
運営推進会議メンバー （参加者）	1. 利用者、家族：3 名 2. 地域代表：2 名、（まちかどネット畝傍）（地域住民） 3. 市・包括職員：1 名（包括） 4. 職員：5 名																									
利用者登録状況 （9 月 26 日現在）	多機能型ケアホームの登録者数（定員 29） <table><tr><td></td><td>要支援 1</td><td>要支援 2</td><td>要介護 1</td><td>要介護 2</td><td>要介護 3</td><td>要介護 4</td><td>要介護 5</td><td>合計</td></tr><tr><td>9 月</td><td>0</td><td>2</td><td>8</td><td>1</td><td>3</td><td>6</td><td>3</td><td>23</td></tr></table> ※平均介護度 <u>2.6</u> 泊り平均 <u>6.0</u> 名 通い平均 <u>12.8</u> 名									要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計	9 月	0	2	8	1	3	6	3	23
	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計																		
9 月	0	2	8	1	3	6	3	23																		
報告事項	◎ホームの取り組み 1. 参加者の数名は、運営推進会議の参加が初めてとなる方がおられるため、あらためて「運営推進会議」の概要を説明した。 2. 地域貢献活動について サロン活動 （1）サロン活動 月 6 回開催（0 と 5 のつく日）。体操と食事をみんなで行えるよう場所の提供。 ※習慣とすることが大切。行事ではなく日常の一部として実施。 ①目的 家での閉じこもりを防いで社会性を保つと同時に、栄養状態の維持・改善などを目的としている。 ②運営 1) 感染症予防に留意し発熱等の症状がないか確認。マスク着用は自由。 2) 自宅でのとじこもりの解消と健康づくりのため、リハビリ体操や口腔体操を実施。 3) 熱中症予防・感染症予防など、ミニ学習会や情報提供に取り組みます。 4) 「まちかどネット畝傍：市民の事業所支援ボランティア」メンバー：3 名程、職員 2 名程で協力。 ③参加状況 毎回、25 名前後の地域の方が参加。 つながり連絡員制度 地域の方へ安心を届ける。地域の方ひとりにつき職員ひとりが担当し、安否確認や体調確認、サロンへの参加のお誘いなどを行う。 学習会・その他 （1）春と秋の「あすなら学習会」 それぞれ 3 回開催 内容 1) お役立ち情報の学習 2) あすならホーム畝傍の喜ばれた事例 3) ならコープの商品紹介 4) 意見交流 人数 春の学習会は 3 回開催し、ご家族を含む計 84 名の方が参加。 日程 4/25（29 名） 5/25（30 名） 6/29（25 名） ※秋のあすなら学習会予定 10/30, 11/10, 11/13(コープみみなし), 11/20 （2）福祉講演会 年 2 回 （3）福祉学習会 年 4 回（友の会でお知らせ） 1 月 23 日(金) 体操&試食会 （4）買い物支援 買い物に不便さを抱える人のために、ならコープの商品を積んだトラック「移動店舗」が週 1 回（土曜日 14：00）正面玄関付近に。 （5）ユニバーサル就労 精神的・社会的な要因で就労に困難を抱える方に対する就労支援。畝傍では 1 名の方を 2023 年 11 月まで支援。 3. 橿原市地域包括ケアシステム連絡会の取り組み （1）地域包括ケアシステム構築のため、橿原市内の地域密着型サービス事業所が連携																									

	し、学習や交流を通じて、職員のケアの質の向上、事業経営・運営の能力の向上を進め、地域に貢献し、住み慣れた地域で安心して長く暮らしていけるよう目指しています。 (2) 2021 年 12 月 17 日発足。主な活動…事業者間の学習、交流（年 2、3 回開催） (3) 学習交流会を企画 専門職向けに、2026 年 1 月 21 日(水)丹野智文氏(認知症当事者)の声を聞くことができる学びの場を実施。 次回予定：2026 年 11 月 23 日(月) 丹野智文氏(認知症当事者)講演会 4. ご利用者に対する取り組み (1) ご利用者の様子 ①お出かけ 原則、制限なし。 ②自立支援 掃除、洗濯干し・たたみ、食器洗い・拭き。 長年していたことは体に染みついております。良い表情をされます。やりがいや生きがいにも繋がります。機会をつくり、居場所づくりを行います。 ③おでかけ企画、ランチ企画、おやつ企画 (2) 重大事故 発生なし (3) 取り組み状況と今後の取り組み 7/16 利用開始となったご利用者の事例報告。今年 1 月に娘さんが自宅に訪問した際に構音障害を認め、2 月に起床時から構音障害が悪化。右上肢脱力を自覚し救急搬送され、左前頭葉中心に皮質梗塞が見られた。左中大脳動脈の狭窄もあった。内科的に加療。3 月からリハビリを目的に転院。歩行訓練や日々のリハビリを頑張ってもらった。あすならに來られてからは、通いと泊りを約 1 ヶ月利用され、8 月中旬からご家族・ご本人と相談し通いを週 4 回利用し自宅で過ごす時間を増やすことができました。 (4) その他 ・介護記録ソフト(ケアコラボ)の家族公開を開始 ・「あすならホーム畝傍ニュース」を発信
今後の予定	◎ホームの予定 (1) 消防避難訓練 年 2 回（5 月 13 日、10 月 14 日実施予定） (2) 自然災害避難訓練 年 2 回（9 月 1 日風水害想定、3 月 11 日地震想定）
評価・要望・意見等	(1) 利用者・家族 ・転倒骨折し自宅での生活に困っていたが、多機能を利用することができ、スタッフに見守られながら安心して過ごすことができている。通い泊り訪問を柔軟に組み合わせて支援してもらえているので、定期的に家で過ごさせています。 (2) 地域代表・地域住民・行政 ・良い取り組み事例を知ることができて良かったです。インスタやニュース発行を続けて、広く発信を継続して欲しいと思います。
その他必要な事項	◎虐待防止、身体拘束等適正化検討委員会等 (1) 2016 年 7 月から業務会議の中で、定期的に虐待防止委員会（半年に 1 回）、身体拘束適正化検討委員会（3 か月に 1 回開催）を開催し、ご利用者の行動を制限するような事例の有無を報告。また、虐待防止及び身体拘束適正化の検討に関する研修会を実施。※ 2026 年 3 月 25 日、7 月 15 日、9 月 23 日 身体拘束適正化検討委員会を開催。2026 年 3 月 4 日、8 月 26 日 虐待防止委員会を開催。 (2) 2016 年 7 月開設以降、緊急、やむ得ない場合も含め、ご利用者の行動を制限するような事例は発生していないことを報告。

次回開催予定：2026 年 11 月 28 日（土）10：00～（場所：あすならホーム畝傍 サロン）

あすならホーム畝傍 多機能型ケアホーム 運営推進会議議事録

開催日時	2026 年 7 月 25 日（土）11：00～11：30																										
運営推進会議メンバー （参加者）	1. 利用者、家族：3 名 2. 地域代表：2 名、（まちかどネット畝傍）（地域住民） 3. 市・包括職員：1 名（包括） 4. 職員：5 名																										
利用者登録状況 （7 月 25 日現在）	多機能型ケアホームの登録者数（29 名登録） <table><tr><td></td><td>要支援 1</td><td>要支援 2</td><td>要介護 1</td><td>要介護 2</td><td>要介護 3</td><td>要介護 4</td><td>要介護 5</td><td>合計</td></tr><tr><td>7 月</td><td>0</td><td>2</td><td>7</td><td>1</td><td>3</td><td>6</td><td>3</td><td>22</td></tr></table> ※現在の登録人数は 22 名。平均介護度は、2.5 の状況です。										要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計	7 月	0	2	7	1	3	6	3	22
	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計																			
7 月	0	2	7	1	3	6	3	22																			
報告事項	◎ホームの取り組み 1. 参加者の数名は、運営推進会議の参加が初めてとなる方がおられるため、あらためて「運営推進会議」の概要を説明した。 2. 地域貢献活動について サロン活動 （1）サロン活動 月 6 回開催（0 と 5 のつく日）。体操と食事をみんなで行えるよう場所の提供。 ※習慣とすることが大切。行事ではなく日常の一部として実施。 ①目的 家での閉じこもりを防いで社会性を保つと同時に、栄養状態の維持・改善などを目的としている。 ②運営 1) 感染症予防に留意し発熱等の症状がないか確認。マスク着用は自由。 2) 自宅でのとじこもりの解消と健康づくりのため、リハビリ体操や口腔体操を実施。 3) 熱中症予防・感染症予防など、ミニ学習会や情報提供に取り組みます。 4) 「まちかどネット畝傍：市民の事業所支援ボランティア」メンバー：3 名程、職員 2 名程で協力。 ③参加状況 毎回、20 名前後の地域の方が参加。 つながり連絡員制度 地域の方へ安心を届ける。地域の方ひとりにつき職員ひとりが担当し、安否確認や体調確認、サロンへの参加のお誘いなどを行う。 学習会・その他 （1）春と秋の「あすなら学習会」 それぞれ 3 回開催 内容 1) お役立ち情報の学習 2) あすならホーム畝傍の喜ばれた事例 3) ならコープの商品紹介 4) 意見交流 人数 春の学習会は 3 回開催し、ご家族を含む計 84 名の方が参加。 日程 4 月 25 日（29 名） 5 月 25 日（30 名） 6 月 29 日（25 名） （2）福祉講演会 年 2 回 （3）福祉学習会 年 4 回（友の会でお知らせ） 1 月 23 日（金）体操&試食会 （4）買い物支援 買い物に不便さを抱える人のために、ならコープの商品を積んだトラック「移動店舗」が週 1 回（土曜日 14：00）正面玄関付近に。 （5）ユニバーサル就労 精神的・社会的な要因で就労に困難を抱える方に対する就労支援。畝傍では 1 名の方を 2023 年 11 月まで支援。 3. 橿原市地域包括ケアシステム連絡会の取り組み （1）地域包括ケアシステム構築のため、橿原市内の地域密着型サービス事業所が連携																										

	し、学習や交流を通じて、職員のケアの質の向上、事業経営・運営の能力の向上を進め、地域に貢献し、住み慣れた地域で安心して長く暮らしていけるよう目指しています。 (2) 2021 年 12 月 17 日発足。主な活動…事業者間の学習、交流（年 2、3 回開催） (3) 学習交流会を企画 ①2025 年 5 月 23 日樫原市の地域密着型サービスの職員や行政が集まり、畝傍見学会や意見交流会を実施。 ②専門職向けに、2026 年 1 月 21 日(水)認知症当事者の声を聞くことができる学びの場を実施。 4. ご利用者に対する取り組み (1) ご利用者の様子 ①お出かけ 原則、制限なし。 ②自立支援 掃除、洗濯干し・たたみ、食器洗い・拭き。 長年していたことは体に染みついております。良い表情をされます。やりがいや生きがいにも繋がります。機会をつくり、居場所づくりを行います。 ③おでかけ企画、ランチ企画、おやつ企画 (2) 重大事故 発生なし (3) 取り組み状況と今後の取り組み 6/8～利用開始の女性の事例報告。5/30 に自宅で転倒され右膝骨折され、入院はせず自宅療養となりました。以前に関りのあったケアマネジャー宛に連絡があり、多機能のご利用となりました。6/28 受診後から膝に装着していたサポーターは使用なしになりましたが痛みは残り、先生からは少しずつでも足を動かすようにと言われましたが、ご本人は痛いという気持ちが勝ってしまいました。足踏みや膝の曲げ伸ばしなど徐々に動かしていただく支援をしています。 (4) その他 ・介護記録ソフト(ケアコラボ)の家族公開をスタートしました。 ・「あすならホーム畝傍ニュース」を発信していきます。
今後の予定	◎ホームの予定 (1) 消防避難訓練 年 2 回（5 月 13 日、10 月 14 日実施予定） (2) 自然災害避難訓練 年 2 回（9 月 1 日風水害を想定、3 月 11 日地震を想定）
評価・要望・意見等	(1) 利用者・家族 ・寝たきりにならないように、足の筋力が落ちてしまわないように、自分の頑張りたい気持ちに寄り添ってケアをしてもらえました。 (2) 地域代表・地域住民・行政 ・良い取り組み事例を知ることができて良かったです。インスタやニュース発行を続けて、広く発信を継続して欲しいと思います。
その他必要な事項	◎虐待防止、身体拘束等適正化検討委員会等 (1) 2016 年 7 月から業務会議の中で、定期的に虐待防止委員会（半年に 1 回）、身体拘束適正化検討委員会（3 か月に 1 回開催）を開催し、ご利用者の行動を制限するような事例の有無を報告。また、虐待防止及び身体拘束適正化の検討に関する研修会を実施。※ 2026 年 3 月 25 日、2026 年 7 月 15 日 身体拘束適正化検討委員会を開催。 2025 年 8 月 27 日、2026 年 3 月 4 日 虐待防止委員会を開催。 (2) 2016 年 7 月開設以降、緊急、やむ得ない場合も含め、ご利用者の行動を制限するような事例は発生していないことを報告。

次回開催予定：2026 年 9 月 26 日（土）10：00～（場所：あすならホーム畝傍 サロン）

あすならホーム畝傍 多機能型ケアホーム 運営推進会議議事録

開催日時	2026 年 5 月 23 日（土）11：00～11：30																										
運営推進会議メンバー （参加者）	1. 利用者、家族：1 名 2. 地域代表：3 名、（まちかどネット畝傍）（地域住民） 3. 市・包括職員：1 名（包括） 4. 職員：6 名																										
利用者登録状況 （5 月 23 日現在）	多機能型ケアホームの登録者数（29 名登録） <table><tr><td></td><td>要支援 1</td><td>要支援 2</td><td>要介護 1</td><td>要介護 2</td><td>要介護 3</td><td>要介護 4</td><td>要介護 5</td><td>合計</td></tr><tr><td>5 月</td><td>0</td><td>2</td><td>6</td><td>0</td><td>3</td><td>5</td><td>3</td><td>19</td></tr></table> ※現在の登録人数は 19 名。平均介護度は、 <u>2.34</u> の状況です。										要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計	5 月	0	2	6	0	3	5	3	19
	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計																			
5 月	0	2	6	0	3	5	3	19																			
報告事項	◎ホームの取り組み 1. 参加者の数名は、運営推進会議の参加が初めてとなる方がおられるため、あらためて「運営推進会議」の概要を説明した。 2. 地域貢献活動について サロン活動 （1）サロン活動 月 6 回開催（0 と 5 のつく日）。体操と食事をみんなで行えるよう場所の提供。 ※習慣とすることが大切。行事ではなく日常の一部として実施。 ①目的 家での閉じこもりを防いで社会性を保つと同時に、栄養状態の維持・改善などを目的としている。 ②運営 1) 感染症予防に留意し発熱等の症状がないか確認。マスク着用は自由。 2) 自宅でのとじこもりの解消と健康づくりのため、リハビリ体操や口腔体操を実施。 3) 熱中症予防・感染症予防など、ミニ学習会や情報提供に取り組みます。 4) 「まちかどネット畝傍：市民の事業所支援ボランティア」メンバー：3 名程、職員 2 名程で協力。 ③参加状況 毎回、20 名前後の地域の方が参加。 つながり連絡員制度 地域の方へ安心を届ける。地域の方ひとりにつき職員ひとりが担当し、安否確認や体調確認、サロンへの参加のお誘いなどを行う。再開できるよう調整中。 学習会・その他 （1）春と秋の「あすなら学習会」 それぞれ 3 回開催 内容 1) お役立ち情報の学習 2) あすならホーム畝傍の喜ばれた事例 3) ならコープの商品紹介 4) 意見交流 人数 秋の学習会は 4 回開催し、ご家族を含む 78 名の方が参加。 （2）福祉講演会 年 2 回 （3）福祉学習会 年 4 回（友の会でお知らせ） 1 月 23 日(金) 体操&試食会 （4）買い物支援 買い物に不便さを抱える人のために、ならコープの商品を積んだトラック「移動店舗」が週 1 回（土曜日 14：00）正面玄関付近に。 （5）ユニバーサル就労 精神的・社会的な要因で就労に困難を抱える方に対する就労支援。畝傍では 1 名の方を 2023 年 11 月まで支援。 3. 橿原市地域包括ケアシステム連絡会の取り組み （1）地域包括ケアシステム構築のため、橿原市内の地域密着型サービス事業所が連携																										

	し、学習や交流を通じて、職員のケアの質の向上、事業経営・運営の能力の向上を進め、地域に貢献し、住み慣れた地域で安心して長く暮らしていけるよう目指しています。 (2) 2021 年 12 月 17 日発足。主な活動…事業者間の学習、交流（年 2、3 回開催） (3) 学習交流会を企画 ①2025 年 5 月 23 日樫原市の地域密着型サービスの職員や行政が集まり、畝傍見学会や意見交流会を実施。 ②専門職向けに、2026 年 1 月 21 日(水)認知症当事者の声を聞くことができる学びの場を実施。 4. ご利用者に対する取り組み (1) ご利用者の様子 ①お出かけ 原則、制限なし。 ②自立支援 掃除、洗濯干し・たたみ、食器洗い・拭き。 長年していたことは体に染みついております。良い表情をされます。やりがいや生きがいにも繋がります。機会をつくり、居場所づくりを行います。 ③おでかけ企画、ランチ企画、おやつ企画 (2) 重大事故 発生なし (3) 取り組み状況と今後の取り組み 新規ご利用者（女性）の事例。ご主人が先に利用されており、ご本人もあすならを利用してからは週 2 回通いで来られ、通いがない日は朝に訪問し昼からご主人に会いに来られています。通いの日は積極的に食器洗いや洗濯物干しなど手伝ってくださっています。認知症によりご主人に会いに来られたことを忘れ、1 日 30 回ほど頻繁に電話をかけてこられますが、職員が都度対応し安心してもらえるよう声掛けをすることで、ご家族に頻繁にお電話することなく過ごされています。これからもご夫婦でゆっくりと過ごせるよう支援していきます。 (4) その他 サロンが地域の人主体で運営できるよう、また、お互いが気持ちよく交流できる居場所になるように、スケジュールやお約束事のポスターを AI で作成し発信と掲示をしました。
今後の予定	◎ホームの予定 (1) 自然災害避難訓練 年 2 回（9 月 1 日地震を想定、3 月 11 日風水害を想定） (2) 消防避難訓練 年 2 回（5 月 13 日、10 月 14 日実施予定）
評価・要望・意見等	(1) 利用者・家族 ・利用者：できることをさせてもらっています。みんなでお刺身を食べる企画をしてくれたりと、楽しみながら過ごせています。家族：安心して預けています。毎日でも顔を見られるし、喜んでいる顔を見るとこちらも嬉しくなります。 (2) 地域代表・地域住民・行政 ・本人のしたいことを引き出して実現していく手厚いケアをされています。認知症であっても、そのときの楽しかった嬉しかった感情が残るということをととても大切にケアをされていると思います。
その他必要な事項	◎虐待防止、身体拘束等適正化検討委員会等 (1) 2016 年 7 月から業務会議の中で、定期的に虐待防止委員会（半年に 1 回）、身体拘束適正化検討委員会（3 か月に 1 回開催）を開催し、ご利用者の行動を制限するような事例の有無を報告。また、虐待防止及び身体拘束適正化の検討に関する研修会を実施。※ 2025 年 9 月 24 日、2026 年 3 月 25 日 身体拘束適正化検討委員会を開催。 2025 年 8 月 27 日、2026 年 3 月 4 日 虐待防止委員会を開催。 (2) 2016 年 7 月開設以降、緊急、やむ得ない場合も含め、2026 年 3 月現在、ご利用者の行動を制限するような事例は発生していないことを報告。

次回開催予定：2026 年 7 月 25 日（土）10：00～（場所：あすならホーム畝傍 サロン）